

《共通基礎科目 教養教育科目》

| | | | | | |
|---------------------------|--|-------|--------|----------|-------|
| 科目名 | 多文化共生概論 | | | | |
| 担当者氏名 | 大森 彰 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2・選択必修 | 開講年次・開講期 | 1年・秋期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎ 教養教育-2 豊かな人間性の醸成 ○ 教養教育-3 コミュニケーション能力の向上 ○ 情報-1 国際社会に貢献できる人材育成 | | | | |

《授業の概要》

多文化共生とは何か、日本における多文化共生の現状と問題点を学び、異文化を認め理解する国際理解教育の研究を深めていく。在日外国人の理解を深め、外国人児童生徒・外国にルーツを持つ児童生徒等への教育的支援について考察し、教育の在り方・生き方について考える。多文化社会におけるコミュニケーションのあり方を追求する。

《テキスト》

テキスト---必要に応じて資料を配布する。

《参考図書》

参考書は適宜紹介する。必要に応じて資料を配布する。

《授業の到達目標》

- ・異なる文化、生活習慣および価値観を理解し、豊かに共生する多文化共生社会の実現についての認識を持ち価値を共有する。
- ・異文化理解の方法として、課題を見つけ、調べる、考えるをもとにプレゼンテーションを中心に参加体験型学習を進める。ディスカッション、ワークショップ・ディベート等に積極的に参加することでコミュニケーション能力を身に付ける。

《授業時間外学習》

- ・インターネットなどから授業のテーマに関わる情報を収集し、課題点などを考察しておく。
- ・授業後には、疑問点やさらに知りたい点などについて図書館等を用いて発展的に調べる。
- ・自分の身の周りの人権問題について考える。

《成績評価の方法》

平常点（受講態度等）20%、提出物20%、定期試験60%

《備考（教員経験の有無）》

《授業計画》

| 週 | テーマ | 学習内容 |
|----|----------------|--|
| 1 | オリエンテーション | 授業の概要、学習予定、授業の進め方 |
| 2 | 多文化共生とは | 多文化共生の視点について（在日を生きる、国内の人権問題、グローバリゼーション） |
| 3 | 差別と偏見 | 同調性と普遍論価値について ・異文化理解の方法と展開（ステレオタイプ、差別、偏見について考える） |
| 4 | 在日外国人教育 | コリアンタウン見学の事前学習（予定） |
| 5 | 日本の中のマイノリティ | 女性、外国人（在日コリアン）、LGBT、被差別部落、障害者 |
| 6 | 在日外国人教育 | コリアンタウン見学（予定） |
| 7 | 日本における多文化共生教育① | ニューカマーへの教育的支援と地域の連携 ・コリアンタウン見学の学習のまとめ |
| 8 | 日本における多文化共生教育② | 在日の外国人の人を支援するボランティア活動を進める人からの聴き取りを行う |
| 9 | 人種と民族について | アメリカのBLM運動について ・大坂なおみの活動を通して |
| 10 | 人権について考える① | 性的マイノリティについて |
| 11 | 人権について考える② | 障害者差別について ・障害者差別解消法、インクルーシブ教育 |
| 12 | 人権について考える③ | 多様性とダイバーシティ ・SDGsの17の目標について |
| 13 | 国際化とグローバリゼーション | 部落問題学習 ・被差別部落の歴史に学ぶ |
| 14 | 学生のプレゼンテーション① | 多文化共生に向けて、自分がどのように行動をすればよいか自己の課題に気づく。 ・地球的視野から国際理解を考える（環境問題、平和問題） |
| 15 | 学生のプレゼンテーション② | 学習のまとめ ・日本における多文化共生の課題と展望 |